

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県北九州市
本事業の担当部局名 子ども家庭局子育て支援部こども若者成育課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.1.4 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
個別事業名		未来の家庭を築く男女の育成事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 平成30年度
総事業費(A)(円)		700,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 700,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		700,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	700,000	0	0	0	0	700,000
	対象経費支出予定額	700,000	0	0	0	0	700,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 北九州市では「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に基づき、乳児から若者、子育て世代など幅広い施策を展開している。また、上記プランが令和6年度で終了することから、令和7～11年度までの新たな「北九州市こどもプラン」を策定中である。 少子化の背景は様々あるが、経済的不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育ての孤立感や負担感、子育てや教育にかかる費用負担など、個々人の結婚、妊娠・出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 <本個別事業の位置付け> 少子化が急速に進む中、結婚に向けた新たな一歩を踏み出すためには、婚活に対する知識の増加と、意識の醸成を図り、出会いの機会の創出が必要である。 そのため本事業を、現在策定中である「北九州市子どもプラン」の方針Ⅱ内「基本施策7若者の自立や結婚希望者に対する支援」における「結婚や子育てに対するポジティブな発信や結婚希望者に対する支援」に位置付け、セミナーやイベント等を実施する。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	セミナー	他者とのコミュニケーションを円滑にするためのスキルアップのための講座等を開催し、本事業に参加した後も、日常で実践できるスキル等を身に付ける機会とする。 参加予定人数:90人				
	2	交流会	レクリエーションやトークタイムなど、他者と交流する機会を提供する。 また、県のセンターが実施しているAIを活用したコミュニティサイトの紹介、登録促進の働きかけを行うとともに、市が開設に関わり、無料でお見合いや婚活イベントを開催している「NPO・北九州出会いサポートセンター・JUNOALL」の紹介を行う。 参加予定人数:90人				
	3	イベントの広報	チラシの配架、ポスターの掲示、市政だより、あかい糸めーるへの掲載等により北九州市にゆかりのある、結婚を希望する未婚の男女に対し、上記①②の周知を行う。 <チラシ配布先> 市内関係機関等1,430部、他市町村等170部、北九州出会いサポートセンターJUNOALL400部、関係企業2,000部 <ポスター掲示先> 北九州モノレール構内13部、各区役所7部、その他関係機関等10部 <その他広報> あかい糸めーる、出会い・結婚応援事業HP、市HPへの掲載、市公式SNS(X) <媒体選定理由> コストが低く、例年あかい糸めーる、出会い・結婚応援事業HPからの申込が一定数あるため。				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 依然として、20代、30代前半の女性の申し込みが少ない状況である。そのため、セミナーや交流会の内容の見直しや、広報物を工夫することにより、若い世代の女性の参加意欲を高めていく。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8を見据え政令市1位	1.4(R5年度)
	子育てしやすいまちと感じる市民(子育て世代)の割合		%	90%以上	88.9(R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5年)	
	婚姻件数		件	3,614(R5年)	
	婚姻率			3.9(R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	交流会等の参加者数	人	90	72(R5年度)
	②	イベントサイトへのアクセス数	件	750	472(R5年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	85(R7年度)	78(R5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	セミナーで学んだことを意識して実践していきたいと答えた参加者の割合	%	90	96(R5年度)
	⑤	参加者のうち、イベントを友人・知人に勧めたいと答えた参加者の割合	%	85	82(R5年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県北九州市
本事業の担当部局名 子ども家庭局総務企画課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		3_1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名		子育てマップ北九州の運用、更新				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度
総事業費(A)(円)		2,398,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,398,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,398,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,398,000	0	0	0	0	2,398,000	
	対象経費支出予定額	2,398,000	0	0	0	0	2,398,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 北九州市では「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に基づき、乳児から若者、子育て世代など幅広い施策を展開している。また、上記プランが令和6年度で終了することから、令和7～11年度までの新たな「北九州市こどもプラン」を策定中である。 少子化の背景は様々あるが、経済的不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育ての孤立感や負担感、子育てや教育にかかる費用負担など、個々人の結婚・妊娠・出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 <本個別事業の位置付け> 重点的に取り組む施策であるこどもまんなかcityの推進の中で、「子育てしやすいまちの情報発信強化」に位置づけ、子育て世帯に必要な情報を十分に提供できるよう、カスタマイズ可能な新たな「子育てマップ」を作成することで、子育て世帯の利便性の向上を図るとともに良質な子育て環境が整ったまちとしての発信により、都市イメージの向上を図る。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	新たな子育てマップの運用・更新	令和6年度に新たに作成している子育てに関する施設や市の支援サービス、イベント、飲食店など、子育てに関する様々な情報を提供するウェブサイトの運用・更新を行う。					
	2							
	3							
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 本事業を行う上で、子育て世代が本当に必要としている情報や、発進すべき情報の選定が課題である。 子育て世代へのアンケートでは、市内で行われているこどもや子育て世代向けのイベント情報を集約欲しいとの声があり、今後掲載内容や方法について検討を行う予定としている。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8を見据え政令市1位	1.4(R5年度)
	子育てしやすいまちと感じる市民(子育て世代)の割合		%	90%以上	88.9(R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5年)	
	婚姻件数		件	3,614(R5年)	
	婚姻率			3.9(R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	マップの認知度	%	90	88.4(令和5年)※現在の子育てマップ
	②	マップを利用したことがある人の割合	%	60	24.8(令和5年)※現在の子育てマップ
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	子どもプランにおける市民アンケートにおいて「子育てしやすいまちだと思う」との回答(満足度)	%	90以上	88.9(R5)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県北九州市
本事業の担当部局名 子ども家庭局総務企画課

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成						
個別事業名		「北九州市こどもまんなかスイッチ！」周知動画作成				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		2,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	2,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	
	対象経費支出予定額	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 北九州市では「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に基づき、乳児から若者、子育て世代など幅広い施策を展開している。また、上記プランが令和6年度で終了することから、令和7～11年度までの新たな「北九州市こどもプラン」を策定中である。 少子化の背景は様々あるが、経済的不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育ての孤立感や負担感、子育てや教育にかかる費用負担など、個々人の結婚、妊娠・出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 <本個別事業の位置付け> 重点的に取り組む施策である「こどもの目線を市政に活かすとともに、まち全体で子育てを応援する気運の醸成」に位置付けている。北九州市では、こどもや子育て中の方、その周囲の方が、お互いに包摂性と寛容性を持つとともに、市民一人ひとりがこどもに関わり、育てるという気運を高めていくための合言葉を5つのアクションにした「北九州市こどもまんなかスイッチ！」を策定した(R6.11月)。この「北九州市こどもまんなかスイッチ！」を周知啓発することで、地域社会でこどもや子育てを応援する気運醸成を図ることとしている。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	「北九州市こどもまんなかスイッチ！」周知動画作成、放映	「北九州市こどもまんなかスイッチ！」の5つのアクションを周知するための動画を作成する。 作成した動画は「こどもまんなか月間」に合わせて放映する。 市内の小中学生から聴取した意見を基に、動画内容、放映場所を決定する。					
	2							
	3							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8を見据え政令市1位	1.4(R5年度)
	子育てしやすいまちと感じる市民(子育て世代)の割合		%	90%以上	88.9(R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5年)	
	婚姻件数		件	3,614(R5年)	
	婚姻率			3.9(R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	子どもプランにおける市民アンケートにおいて「子育てしやすいまちだと思う」との回答(令和7年度調査時)	%	90以上	88.9(R5)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県北九州市
本事業の担当部局名 総務市民局女性の輝く社会推進室

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名		パパ育児ファーストステップ応援奨励金				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		11,999,640		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	11,999,640
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,999,640						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	108,000	0	3,840	250,800	
	対象経費支出予定額	0	0	108,000	0	3,840	250,800	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	1,619,000	18,000	0	0	10,000,000	11,999,640	
	対象経費支出予定額	1,619,000	18,000	0	0	0	1,999,640	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	10,000,000	10,000,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 北九州市では「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に基づき、乳児から若者、子育て世代など幅広い施策を展開している。また、上記プランが令和6年度で終了することから、令和7～11年度までの新たな「北九州市こどもプラン」を策定中である。 少子化の背景は様々あるが、経済的不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育ての孤立感や負担感、子育てや教育にかかる費用負担など、個々人の結婚・妊娠・出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 <本個別事業の位置付け> ・男性の育児休業取得が難しい中小企業を対象に市独自の奨励金を助成することで、初の男性育児取得のきっかけづくりを後押しする。 ・奨励金と併せて、男性育児取得推進に取り組む企業・団体等の表彰や、男性向け研修会(パパスイッチ研修)を開催する。						

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	男性の育児休業取得 応援奨励金の実施	【対象外経費】 ■事業概要 - 初めて男性育休取得のあった中小企業の情報を収集 - 男性育休を広めるために上記情報を市内企業に向けて広報 - 上記広報に協力してくれる企業へ奨励金を支給 ■情報収集 - 奨励金申請書に、初の男性育休取得のために工夫した事や苦勞した点等を記載してもらう - 好事例があれば、申請書受領後に追加でインタビューを行う ■広報 - 手段：市HPや北九州イクボス同盟加盟企業等の各種メルマガ、市公式各種SNS - 内容：初の男性育休取得のために工夫した事や苦勞した点等、初の男性育休取得に役立つ情報※好事例については写真付きのインタビュー記事等により紹介 ■費用 1社あたり20万円を支給。広報協力に加え、補助要員の採用にかかる費用としても使用可 ■補助事業を実施する事情 2024年の本市の社会動態のマイナス幅は、女性が男性の2倍以上 - その要因として、家庭生活における男女平等達成感が全国平均の1/2以下、また男女差が大きいことが考えられる。(R4市民意識調査) - 男性自身は育児参加希望が上昇傾向(R4調査：育休取得希望80.1%、H29調査73.1%から7P増)だが、育児は女性、男性は仕事というアンコンシャスバイアスが全国平均より高く、実際の取得状況(36%)は希望と乖離。特に、従業員数が少ない中小企業での取得は難しいと思われる。 ■少子化の一因と本市の対策 ①結婚数の減少(0人→1人にならない要因)→未来の家庭を築く男女の育成事業 ②第一子育児における女性の負担感大(1人→2、3人にならない要因)→パパ育休ファーストステップ応援奨励金 ■補助事業で実施する理由 全企業数の99%を占めるとされる中小企業において男性育休取得が進まない要因として、「人手不足」が挙げられる。この「人手不足」に対する支援として、初めて男性育休取得のあった中小企業に奨励金を支給することで、市内の中小企業における男性育休取得率を増加させるとともに、従業員数が少ない中小企業でも男性が育休を取得できるという社会気運の醸成に繋げたい。また、奨励金の支給後も当事業における情報提供・広報などに協力することとし、行政主体の取組だけでなく、官民連携で実施することにより、子育てに温かい社会づくり・気運醸成としてより高い効果が期待できると考える。
2	男性育休取得推進に 取り組む企業・団体等 の表彰	男性育休取得推進に取り組む企業・団体等を表彰するとともに、その取り組みについて広く企業や市民に情報提供することで、市全体の男性育休取得推進を図るもの。
3	男性向け研修会(パ パスイッチ研修)の開 催	育休取得者(男性、父親)が、「とるだけ育休」とならないよう、家事・育児に対する意識改革を目的に、研修を開催するもの。

少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8を見据え政令市1位	1.4(R5年度)
	子育てしやすいまちと感じる市民(子育て世代)の割合		%	90%以上	88.9(R5年度)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5年)	
	婚姻件数		件	3,614(R5年)	
	婚姻率			3.9(R5年)	

個別事業の重要業績評 価指標(KPI)及び定量的 成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	男性育休取得推進企業・団体等表彰数	社・団体等	4	-
	②	パパスイッチ研修参加者数	人	20	-
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	パパスイッチ研修事業に対する満足度	%	90	-
	⑤	パパスイッチ研修参加者のうち、結婚、妊娠・出産、子育てに対して前向きになったと感じた人の割合	%	90	-
	⑥				
	⑦				
	⑧				